（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和十六年六月一日　磐城毎日新聞　（日曜日）　第六千二百二十七號　（一）

三十一日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八五五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

文化諸活動に要望されるものは新生活態度乃至モラルの確立運動に加はることである

（松本潤一郎）

閼伽井嵐

磐城魂の再建（下）

松村亨

そこで只磐城には所謂偉い人は無かつたけれども一脈の生氣があるのだ。それ故この生氣が磐城魂になるべき萌芽であつて私はこゝに着眼して今日二度三度磐城史を繙き磐城の精神を再三四檢討して磐城武士の大道を明かにし新たなる磐城魂の再建を計りたい。この道は日本の大道に通じ、昭和の光に添ふ所あるを信じて疑はない。

附記、高木稻水さんの云ふ如く磐城の人は海に面してゐるから海の方ばかり眺める。外を見るのもよいけれども少し內を見て自ら省み、又こゝの惡い癖は少し伸びるゝ直ぐ寄つてたかつて壓し潰す子供の「おしくら饅頭」の如きを止め、愛藩一致、愛鄕團結の道を計る事最も急事である

時間勵行

高木稻水

柴田常陽氏の時間勵行問題が先日本欄で問題になつたが、市翼賛會の事務主任柳沼さんに伺をたてて見ると

常會なども時間勵行をやかましくいふのですが、中々實行されません。常會を時間通り開會豫定の時間に切り上げる事が出來るやうになれば大成功です。時間勵行運動は大賛成です。大いに新聞に書いて熱を煽つて下さい。

一体いろ〳〵の集會で開會の時刻を守られないのはどちらかといふと偉いお方達が遲刻する事が多くて下僚末輩は割合に時間を守るのではないかと思ふ。お互にいそがしい時局下なのだから是非時間勵行を實現してゆきたいものだと思ふ。六月十日は時の記念日だ。今月はこの問題をとりあげたい。

民間療法と藥草

野崎順

第三十五卷から第三十八卷中の本部には喬木類四十二種灌木類五十一種寓木類十二種苞木類四種雜木類七種其の他十九種計二百種の樹木の有つ藥効を說いたのである。

本草綱目の記載例を和文に直し記して見ると

黎蘆（和名オホシロサウ別名テンセンシュロサウ）

「釋名」時珍曰く、黑をリといひ、盧とは黑皮があつて裹んで居るから名附けたものである。根の際が葱に似た俗に葱管黎蘆とはこの草である

に曰く黎蘆太山の山谷に生ずるもので、三月頃根を採つて陰干とする

「修治」雷曰くこれを採取したなら、頭を去つて糯米油（モチゴメノ油）で午前十時から午後二時まで煮て晒後乾して用ゐる。

「氣味」辛い寒にして毒あり、別錄に曰く苦く微かに寒がある

「主治」虫毒、ガイ逆洩痢、腸澼頭瘍、疥ソウ惡瘡。又諸虫を殺し死肌を去る。

「發明」頌曰く、リロは一盞に一字位を服めば劇しく吐く

「附方」諸風の痰飲、リロ十分、欝金一分を粉末として一字づゝ温漿水一盞で和して服用し探り吐かす

附記リロとは我が國に産するシュロサウの類を云ふのであつて我が國では「リロ」と讀み、支那では「リル」と發音する。この附近にはアヲヤギサウバイケイサウ等がありリロの名を冠するものに伊吹リロがある。（岩崎灌園命名す）百合科のシュロサウ屬で有毒植物として扱はれ居ります。

（本文は昨紙と入れ違ひました）

彌榮村訪問記【三】

（大連市）小野傳

四、鐵道自警村

滿鐵が鐵道警備の目的を以て入植せしめた開拓民で、今後は新設せず滿鐵實務訓練所を以て之に代らしめる方針の樣である。

五、青年義勇隊

滿洲開拓青年義勇隊が本名で內地では滿蒙開拓青少年義勇軍と云ふは日滿一体化工作の促進徹底を期する爲青年開拓民の入植と共に併行して純眞潑剌たる農村子弟に對し希望の新天地を開拓せしめ以て滿洲の建國の聖業を完遂せしめんとするのが其の使命とされてゐる。

以上は滿洲開拓事業の沿革並其の概要を述べたのであるが、似て開拓地視察を主要目的として大連では三月下旬ともなればスプリングをまとふ頃なのに北滿の寒氣を案じオーバーを重々と身に着け戰鬪帽に卷脚絆と云ふ裝で滿鐵が時速一二〇Kと云ふ快速を世界に誇る超特急「アジア」にて東京の上野驛にも似た大連驛を發つたのは三月二十三日の午前九時半であつた。

途中新京に下車し滿拓本社を訪れて開拓地の事情や便宜を與へられ、再び車中の人となつて目的の彌榮驛に着いたのは二十六日の午前十時頃であつた、彌榮驛はホンの小さな建物であるが驛頭に立つ滿洲開拓第一次武裝開拓團彌榮村の白標柱と驛舍の兩側にある銃眼とは訪づれる者をして感激せしめずには措かない。筆者はこの銃眼が過ぐる來匪の砌相當役立つて呉れたものと思つたりして見た。

三江省樺川縣に在るこの彌榮村は北緯四十六度二十五分に位し、樺太の南端と略同緯度であるが實際來て見ると日中は案に相違して差程寒さを覺えなかつた、而し夜分の氣溫の急低下は流石大陸性氣候なればこそと首肯される位であつた。

驛の東側に大部落があり西側に少し離れて小部落がある。驛より東南方向の小丘上に戰死者二十五柱の忠靈を祀る忠魂塔及び東宮記念碑が聳えてゐて思はず首の下るのを覺えた

驛より一町程部落の方に進むと右側に新築の滿洲事情案內所彌榮支所があつて種々世話や案內をして呉れる、話を聞いて來たので早速刺を通じたところ早くも視察の爲來訪者が數人居り第一次開拓團の一員として入植後匪賊との激戰に負傷され今は同支所の案內を務められる小川氏より涙ぐましき話を聽きつゝ部落を一巡する。

俳句

竹の秋

大平一郎選

温泉の宿にまじる農家や竹の秋　何鳴
廢寺の荒れしがまゝや竹の秋　晃々子
竹の秋山家の灯り見えかくれ　扇要子
細き道奥に寺あり竹の秋　一來
山寺に彌陀の聲あり竹の秋　春美
庭先にさばしるながれ竹の秋　何鳴
窓外にひそけき音や竹の秋　春美
賤の家の月しづかなり竹の秋　晃々子
竹の秋背の山藤は花ざかり　〃
鶯の老いて徑べり竹の秋　選者

異說（いせつ）赤穗（あかほ）浪士（らうし）（210）

桃川若燕
（畫）城木喬

義士の最期

二月四日老中より奉書を四家に廻した、その文面は、

お預け置かれ候、淺野內匠頭家來お仕置被仰出され候に付、御目付荒木十左衛門御使番久永內記罷り越す可く候、その節御自分出會はさるゝに及ばず候、家來のみ差出さる可く候以上、

二月四日　稻葉丹後守

秋元但馬守、小笠原佐渡守、土屋相模守、阿部豐後守、細川越中守殿としてある。文面は同じで、久松家には御目付が杉田五左衛門、御使番は駒木長一郎、毛利家には御目付鈴木次右衛門、御使番齊藤治之助、水野家には御目付久留十左衛門、御使番赤井平右衛門、この檢使には御徒目付が五人から七人、御小人目付が五人から七人、外に使衆として五六人つくもの、細川家を始め三家では豫て用意の腹の支度を義士一統の前に差し出した。それは白紋付袢一具、小袖（白羽二、重下着桑染）襲、上帶一筋、足袋一足、脇差小一口、白三寶（前の方丈け破つてある）一個、扇子一本これは久松家の支度で細川家では淺黃無垢麻袢、黑羽二重小袖、上帶下帶、足袋などの仕度で他の二家は久松家と同樣の準備をした。

細川家へは御目付荒木十左衛門御使番久永內記が使者の間に入り細川候の近習にその後にゐる。

一黨の者はその前に平伏すると十左衛門は容を正し、

『御上意……』

と聲を掛ける、一同がハッと頭を下げると

『淺野內匠頭御馳走の御用被仰付置候處、時節柄殿中をも憚らず不屆の仕方にお仕置仰せ付けられ、吉良上野介儀は御構ひなく差置かれ候處、主人の仇を報じ候と申し立て、內匠頭家來四十六人、徒黨致し上野介屋敷へ押込み、飛道具等持參、上野介義央を討候始末公儀を恐れず候段、重々不屆きにつき、依つて切腹申し付くるもの也』

と讀み上げる。稍あつて內藏之助は頭を上げ、

『如何やうの重罪にも處せらる可き處、切腹仰付けられ有難く存じ奉ります』

とお受けする、これで公務は終つたので、十左衛門は、

『內藏之助とは昨年赤穗にて面談以來、變つた場所にて對面いたすの』

と云つたが、此の荒木十左衛門は赤穗城受取りにも受取役人として大石に逢つてゐる。

『これは自分一存にて話し置くが吉良左兵衛事は、此の度の仕方不屆きに思召され、領地召上げの上諏訪安藝守へ永のお預けと相成つた、左樣お含み置かれるやう』

これを聞いて大石始め一統は嬉しさにハッと頭を下げる、

間もなく上使は立つて次の間に入る、これは支度を待つてゐるため、ときに細川家の宮村團之進は內藏之助の前に進み、

『此度當家に方々をお預かり申してより主人越中守は何卒して御一同の御助命あるやうにと神佛に祈願を籠められました。なれどその甲斐なく誠に殘念の次第にございます。併し最早斯く相成りました上は是非に及びませぬ何卒御心靜かに御支度をなさるやう、主人よりの申し付けにございます故お傳へ致します』

これを聞くより內藏之助は前へ進み、

『永々の御厚遇、我等一同謝する言葉が御座いません。心殘す事なく冥土の主君の許へ赴く事が出來まする、これも偏にお上のお心盡しに依るところ……』

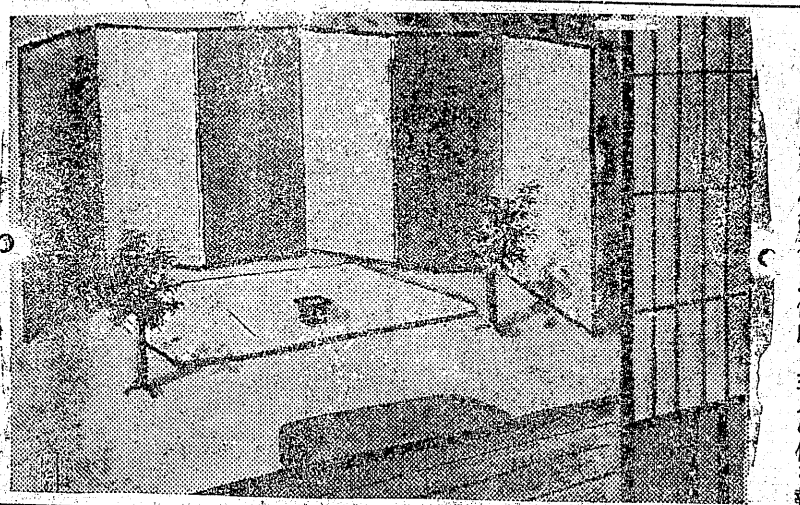
『何か、申し殘す事あらば……』

『ハッ……』

と道の大石もためらつてゐるのを見た堀內傳右衛門が、

『大石殿、拙者にお洩らし下さい』

『ハツ倅奴に武士道をよく辨へるやう勉强致す事又父は美事切腹致したとお傳へ下さい』



わでん
平市新田町
電話三三番

[illegible]の代用品で鐵よりズット性能が優れてゐる薪代が鐵製の半分で濟む木屑でも落葉でも御飯が炊けて毎日の燃料費が五錢も六錢も得をしておいしい御飯が炊ける（主婦之友社生活館推奨）
資源愛護 燃料經濟 廢物利用
特許 久壽竈（クスカマド）
二升炊 六圓
三升炊 六圓五十錢
四升炊 八圓
平市一丁目
武田陶器店
電話二二九

フタバ磁氣療院
平市中町（公会堂通り）
フタバ印刷所內
電話一九三番

コッキー
國基の五大製品
ケンモーサージ 國民服 甲號 乙號
本絹中衣 甲號 乙號
本絹 レインコート 國民服用 外套規格
本絹 レインコート A號 B號
國民帽と儀禮章
（カタログ生地見本進呈）
技術の優秀。親切な仕立
大量注文も御引受致します
コッキー製品特約店
大崎屋洋服店
平銀座 電九六番

急施 水道架設
小名濱町！特典受付開始！
家庭の皆樣 水道水を使ひませう
現在小名濱町には戸數參千八拾五戸ありますが今迄に申込みに成つた家庭は約五十八%に當る千八百戸（うち工事完了千七百十戸）でつまり殘りの千二百八十五戸が未だ未布設のわけで御座います。御承知の通り水道は衛生の點からも、火防の上からも極めて大切で若し玆に新しい設備たる水道水を使用せずして傳染病に侵され多端な町費の負擔に加重を來たす樣な事がありましては甚だ遺憾な事と存じます
特典期間
五月十五日より
來月十四日まで
今申込れる方のお德は？
1 道路部分（水道鐵管の埋設される處）は町費負擔
2 宅地內の給水管六米は町費負擔
3 水道使用料は使ひ初めた月一ケ月は無料
4 設計手數料は無料
【期間後は一切町費補助はありません】
申込み手續きは簡單！
先づ所定の給水工事請求書に記入捺印して水道部（電話244番）又は組長さんへ願出れば良いのです
詳しくは水道部に御問合せ下さい
【町の事業は我等の事業】
小名濱町水道部
電話二四四番

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります
平市四丁目
マルトモ食堂
（電話一二三番）

度量衡
モノサシ・升・秤
計量器
体溫器・寒暖計
ハカリの取緖垂糸を修繕致します
吸入用酸素純度99%
關內藥局
平四丁目 電話四〇番

防空暗幕
天幕・シート
防水マント
カーテン・敷物、防水加工
販賣 作製
●設計と施工●
敷島屋商店
平市六丁目六
電呼四八三番

純毛類の純ドライクリーニングは誰が何んと言つても絕對他店の追隨を許さぬ
ペンヂン純ドライクリーニング機械と優秀なる蒸氣仕上機械使用
白榮舍ランドリー
（クリーニング用の高級原料は豊富に準備してあります）
他店でお氣に召さぬ時は是非一度御試し下さい
正直な仕事と優秀なる技術をお望みの方は
設備を誇る平市田町の
白榮舍ランドリー
平市地區洗染同業組合員

鳩尾加壓器
鳩尾を落すこと
一、胃腸は丈夫に動脈硬化が柔ぐ
二、鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です
使つた其日からこれは効くぞと判るのが特徵です
製造頒布元…東京林健體本部
頒布所
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番

漢方貼り藥
濕布で名藥
生公華
肋膜、氣管支、關節、神經痛、肺炎、ロイマチス、扁桃腺炎、ぢ疾に
二圓五十錢 四圓 八圓
專賣店 平市五丁目角
山野邊藥局

ヒシ印
火ツキ良ク火持ノ長イ
煉炭
ドウゾ御用命願ヒマス
石炭
阿部商店
平市驛前 電三七・一三七番

良品選てん廉價販賣
パイロット萬年筆
￥2.00以上
御入學に。御祝に……
進物ケース呈上
平市公園前 角忠
佐々木商店
電話二三三番

男女助手徒弟募集
（委細面談）
理髮タイヨー
小名濱町登記所前

六月の暦

平地方の催し

◇六月一日（日）△更衣△飯米配給規定改正△興亞奉公日△平青壯年團結成式（子鍬倉神社）△市制實施記念日
◇二日　△中堅農民苗代講習會（上遠野）△蠶豆出荷協議會
◇五日　△平商生平窪遺家族農家の手傳
◇六日　△市內國民學校上級生苗代害虫驅除實施
◇八日（日）　△石城郡豫選軟式野球大會（第一及工業）
◇九日　△養蜂講習會（農會事務所）△平第四國民校四年以上本日より廿九日迄農繁休暇
◇十日　△時の記念日△平市壯丁徵兵檢査始まる、十二日迄
◇十一日　△入梅
◇十二日　△平市內國民學校兒童苗代害虫驅除△平窪保育所開設本日より廿日迄
◇十三日　△本日より十七日迄の間に一日間市內男子中等校體力檢定實施
◇十四日　△平製圖工養成所終業式（平陽校）
◇十七日　△皇太神宮月次祭、各校訓話
◇十八日　△第三國民學校の教育研究會
◇十九日　磐中見學旅行隊（五年生）出發
◇二十日　△郡下軍用保護馬檢査開始△第廿二回國債賣出し
◇二十一日　△平商强行軍
◇二十二日（日）　△夏至△軟式野球豫選大會△協力會議定例日△市內中等學校生徒の田植手傳始まる
◇二十三日　△平市協力會定例日
◇二十四日　△第四校高等科生神撰田田植式
◇二十五日　△舊六月朔日　△皇太后陛下御誕辰△平商見學旅行隊（五年生）出發
◇二十八日　△前世界大戰講和記念日
◇三十日　△磐女見學旅行隊出發（四年）

輝く市制四年

躍進平の明日を語る

平市は昭和十二年六月一日市制施行以來四ヶ年の輝かしい歩みを續け、明一日は事變下に第四回目の記念日を迎へる、この輝く記念日に際し全市民が一層緊張して新興都市として躍進の發足するやう伊藤助役に市の發展と將來について聽く

市制施行直後支那事變が勃發、物資勞力の不圓滑と起債の抑制に依り都市体制所期の施設をする事が出來なかつたが第一期計畫として市民多年の宿望であつた公會堂の建設、市立商業の新築並びに學級增加、第四國民學校講堂の新築、校舍の增築を實現し更らに縣立工業を誘致開校した他磐中磐女の學級增加に努力之が實現を見教育の振興を圖り、社會事業方面に於ては公益質屋の設置及授產場隣保館の設備を完遂して銃後の强化に資するを得たのは市民各位の協力の結晶といふべくこゝに四周年を迎へるにあたつて將來の方針として

（イ）隣接村の併合
（ロ）工場の誘致
（ハ）町內會隣組の整備强化
（ニ）教育網の完備
（ホ）商工業振興
（ヘ）農業生產物の增進
（ト）建康都市の建設

を目ざして鋭意努力するつもりである。なほ本年三月の市會で市是調査會を設け第一部財政第二部教育第三部勸業第四部土木交通第五部警防水道衛生の五部門を設け將來の平市の方針の確立をはかることになつて近くその具体案が出來る筈である

市制施行當時の人口は三萬五百七十八人であつたが四年後の今日は三萬四千三百九十二人となつてをり、財政は豫算廿萬に過ぎなかつたものが現在では五倍九拾八萬五千余圓となつてゐる

具体案が出來る筈では目下豫約募集に奔走しつゝあり、市民全般の協力を要望されてゐる

常磐線の臨時急行

六月十日迄運轉

常磐線臨時急行上り二一〇四號、同下り二一〇三號は五月卅一日限り運休豫定を六月十日まで延期運轉することになつた。

◇上り　仙台發午後一時四〇分、平着四時二〇分──同發四時二五分──上野着午後七時五〇分
◇下り　上野發午前一〇時一〇分平着午後一時四〇分──同發一時四八分──仙台着午後四時一七分

着

郵貯强調期間

平局豫想外の好成績

五月二十日から行なはれた郵貯八十億圓突破記念『郵便貯金强調期間』中に於ける平郵便局の取扱ひ實績は次の如く豫想以上の好成績を收めた

新規成績、二七九件　二、一〇七圓（目標額七八〇圓に對し二七割增）
△組合貯金の增加數　一三三五人
金額一、二五〇圓
◇一般貯金純增加　一二、〇〇圓
◇月掛及集金貯金の

尙第二十二回國債賣出しは六月廿日から七月一日までと決定、平局

中等校修學旅行

鍛錬と見學が目的

平市內公立中等學校の修學旅行は身心鍛錬、見學、團体訓練の目的の下に從來の物見遊山的の見學旅行氣分を一掃して、時局下にふさはしく、自肅緊張の氣分を失はずに實施されることになり、その日程方向等がそれぐ決定縣の認可、停車場との輸送交渉等を遂げつゝあるが大体左記の如く行はれる筈である

【磐中】六月十九日から二泊三日、霞ヶ浦航空隊見學、筑波登山、香取鹿島神宮參拜（五年生）
【平商】六月二十七日から二泊三日、那須登山、日光參拜（五年）
【磐女】六月卅日から二泊三日、東京鎌倉一方面（四年）

前線慰問通信

☆★★☆★☆【8】☆★☆★☆★

揚子江で三晩迎へ　田家鎭に碇泊

漢口福島ホテル

縣議　木村守江氏

この地は日本で占領し守備兵もおるが直ぐ裏山には敵がゐるのだといふ。船は九江に着く、鄕土部隊を慰問の爲め上陸せんとせしに碇船時間一時間余とのことで止むなく歸途に立寄ることにする。その中に一人の兵長が木村先生ではありませんかといふ。殆んど見覺えのない兵であるが胸に鹽出正勝と書いてあるので四倉の人であることがわかる。漢口に要件のため出掛けるのだといふ。思掛けぬ所で會つたので何を話してよいか分らぬ中に私は小さい時先生のオートバイで往診する姿を覺えてゐますと言ふ色々次から次と鄕土の話は續く、健全で働いてゐることを傳へてもらひたいといふ。而してこんな所で先生に會へるとは思はなかつたといつて喜ろこんでくれる、一晝夜同じ船客となつたので夕飯を共にし「ビール」を飲みながら四方山の話に花を咲かす。その中に俄に空の色が變つて來たかと思ふと風が出て來る、揚子江の浪は急に高くなつて來る、雨が文字通り零すやふに物すごく降つて來る、これが有名な揚子江の突風であり驟雨であるがあまりの急襲の爲めに逃げる隙なく沈沒する帆船が相當あるとのことである、最近も一度に十九隻かの船がやられたとのことである、その中に蓬々の態で舵を取り逃げる帆船が二隻ある、船客大騷ぎで窓から眺めてゐるが雨のひどいのと、風の爲めに忽ち見えなくなつてしまう、どうしたことかと未だに案じられる、雷鳴と共に來た驟雨は約二十分位で止んだが空の色は依然として險惡である、風も强くはないが相當あるので波は尙ほ高い、揚子江の水量はよほど增したらしい、流れも急になつて來る、揚子江の流れは常に變つてゐるといふがこんなに二三時間の中に變るとは日本人には一寸想像の出來ないことである、船は險惡な天候の中に激浪を突いて夕刻半壁山に近づく、名の如く揚子江に衝立の如く直立して見える、右岸には大別山系の一部が海岸に迄來てゐる。この邊も川幅が狹くなつてS字形をなした激流である、それに兩岸は山岳地帶である、一体揚子江はS字形をなした所は要塞地とも申すべき防禦に非常に便利な所である、その例に漏れずこの半壁山と大別山の一角をなす田家鎭とは支那軍の必死に防戰した地である、特にこの地は支那史始まつて以來敵に奪取さたことがないと言ふ難攻不落の地であるとのことである、この地に對する興東丸船長の話を書て見る、船長の話によればこの地こそ吳國夫差を越軍が攻めて會稽の恥を注いだ地だ」と語つてゐたがこれには少々吳は浙江省越は江蘇省と習つた吾等の東洋歷史觀からすると異議があるが何れにしても非常な要害の地なることには違ひない、今次事變に於ても我が軍がこの地に苦戰したことは記憶に新たなところである、丁度田家鎭に來る頃日沒となつたのでこゝにてい泊すこゝには波止場も何もないのであるがこの地區は揚子江上非常に必要な點で海軍の砲船並に陸軍が警備してゐる、こんなところでないと無暗にてい泊出來ない先日書いた通り夜間は機雷の流れて來る爲めに航行不能と言つたがそれかといふて揚子江上處きらはず碇泊することが出來ない、若しも客船が妄りに夜半碇を下してゐやうものなら何處からか支那兵が傳馬船でやつて來て客船に暴行を加へたり物品を掠奪したりするといふ。その爲め必ず客船は陸海軍の警戒地區內に碇泊することになつてゐるのでこゝに碇泊する、勿論揚子江の眞中である、然しこれが軍の御用船ならば決して手を出さないとのことである、武裝した軍人が乘つておる爲めである。これで南京を出てから揚子江上に夜を迎へることと三晩、不便な船だと不平をこぼすが仕方ない。丁度乘込んだ抗州灣上陸部隊の歸還兵達と戰跡を語りて徒然を慰やす、田家鎭は九江より約四十五浬の揚子江上流の殆んど人家も見えぬ寒村である。この邊は午後八時三十分頃日沒する

純無醫村無し

石城は公醫設置除外か

厚生省等で東北各縣に於ける無醫村の絕無を期し公醫制を設けるべく大童となつて調査を進めつゝあるが、石城郡內に於ける無醫村は夏井、川前、玉川、磐崎、箕輪、鹿島村等が擧げられて居り、交通の便が好いため、たとへば川前村には小野新町から、箕輪村へは澤渡から出張し、その他は玉川は小名濱、磐崎は湯本といふ具合に隣接町村の醫者があるので醫師會等でも巡回診療の話も出るがその必要なしとされてゐる

重要使命を帶び

青壯年隊あす發足

平市青壯年隊結成式は既報の如く明一日午前九時半から縣社子鍬倉神社々前で嚴肅裡に執行する

これより先午前八時半市內卅四分隊所屬の隊員二千余名は平商校庭に集合、各分隊毎に整列して青沼隊長の閱兵を受け、縣社境內へ移動、關係者多數臨席して結成式を擧げ、翼賛運動の中核体として發足する

文協講演會

四日夜福島無盡樓上

磐城文化協會では來月四日（水）午後七時から紺屋町福島無盡の樓上に於て磐城高等女學校敎諭鈴木光四郎氏の「我鄕土觀」と題する講演を聽く。同氏は磐城の鄕土史に研究深き篤學の士で、同夜の講演は磐城の指導精神について何等かの暗示を與へるものとして期待されてゐる、なほ同夜は會員のみならず一般人の來聽も歡迎すると一般人も無料、時間嚴守、會員にも特に通知せず新聞紙上の報導を以て通知にかへる由

尙講演會の打合せ及基金造成、會友募集等に關し二日午後七時からサロンに委員會を開くことになつた

磐中生汗の奉仕

荒蕪地二反步開墾

磐城中學校第三學年生は先般神谷村に出動し田の掘返し、道路改修製炭用木材の運般等に大いに能率をあげたが昨卅日には北好間村荒屋敷に出動、竹籔開墾作業に從事銃後の食糧增產に一役を買つて汗の勤勞奉仕をした、今年中に水田二反步を新たに作りあげる計畫で村當局と學校側が張り切つて努力を注いでゐる

南洋漁場

開拓指導

パラオ場長來郡

パラオ島南洋廳水產試驗場長岡島淸氏は二十九日小名濱町水產試驗場を訪問し南洋を漁場とする本縣遠洋漁船に關し種々打合懇談を遂げたが、南洋廳水產試驗場は同島に漁業を營む土人達の指導が目的でなく內地より南洋へ遠征する漁船の爲めに設立されたもので、當日は本縣遠洋漁船々主とも懇談する都合であつたが、その時間を得ず歸つた

翼賛會役員

郡市關係指名發表

翼賛會市町村支部役員は卅日附で指名發表されたが石城、平市關係次の如し

【勿來町】常務委員赤津一（五四）町常會委員橫山太一（三三）前町長磐前廉平（四八）町議、橫田定好（四五）荒井敬助（五八）實業學校敎諭顧問赤津庄兵衛（四七）縣議、大平睦四郎（六七）農會長、小松淸三（六五）產業組合長【大野村】參與櫛田武美（五八）助役、高濱秉憲（四四）國民學校長

【川部村】常務委員鈴木榮（三三）在鄕軍人分會長、加茂勝夫（四二）製材工場主、田子浦次（四二）產業組合常務理事園部雅美（三五）元代用敎員、田子家長（三三）現助役、顧問鈴木長治（五九）現警防團長、兒玉金太郎（五九）農業、參與阿部聰山（四八）產業組合專務理事、鈴本榮（四五）農業高崎竹造（四二）國民學校長【玉川村】常務委員、遠藤菊次郎國民學校長、長瀨彰義（五七）村議、駒木根長壽（五七）助役、丹忠義（三七）村常會委員、遠藤喜三郎（六五）村議

【平市】顧問久和健一（四八）警察署長、山崎與三郎（五八）商工會長藤田榮助（四七）市議、松本德一（五一）同、諸橋久太郎（四九）貴族院議員、野崎滿藏（六一）市會議長、樫村義衛（五四）胡摩澤郵便局長多田井笑次郎（四四）靑年團長、參與鵜木治春（三九）次席警部、大間喜繁（四八）警防團副長、鈴木新右衛門（三一）藥劑中尉、諸橋敬一郎（三五）平庶民金庫理事、福田藤一郎（四二）鄕軍第五分會長齋藤義于（三二）特高主任

縣指導船

磐城丸

二日鰹漁に出帆

本縣指導船磐城丸は新裝成り宮城縣石の卷より昨夕小名濱港に入港六月二日には鰹を追ふて出港する事になり大體天王崎沖合二三百浬の位置を捜査する豫定である

この初航海には水產講習生漁撈科十二名を乘込ませ實習するが航海豫定日數は十日間である

吉田大佐喪の凱旋

葬儀は六月十日頃執行

中支戰線で散華した內郷村出身の吉田軍醫大佐等の遺骨は今卅一日午前九時五十四分仙台着の列車で喪の凱旋した

吉田大佐未亡人へナ子さんは、昨卅日遺骨を迎へるために仙台に出向いたが、農繁期のため遺族達の多忙を慮り當局では七月に入つてから今回凱旋の卅二柱を下渡す豫定との事で、特に願ひ出たものには事前に下渡す手續もあるので、吉田大佐の遺族は事前下附を願ひ出て來月十日頃に葬儀を執行する豫定といはれてゐる、なほ去る廿八日福島聯隊區司令官は遺族の現住所平市材木町に弔問した

深夜の泥棒

飾窓破る

一物も得ず逃走

卅一日午前一時二十分頃平驛前泉屋玩具店飯沼林一郎さん方の外戸を外し飾窓の大ガラスを玉石で破壞し、內部から寫眞器を盜み出さんとしたが物音に林一郎さんが起き出したので泥棒は一物も得ず逃走した、急報に接し平署では各地へ手配犯人嚴探中

關原家へ

勳章傳達

故人の勳功偲ぶ

平市一丁目故關原司伍長の勳章傳達式は今卅一日午前十時市長室で擧行、青沼市長から父親の新一郎さんへ傳達された

物價騰貴に處し

協定勞賃値上

石城左官組合統制さる

平署管內の左官業は從來市町村別に組合が獨立し賃金の如きも職人不足につけ込んで闇取引が多く行なはれ遺憾とされてゐたが、今度平警察署管內を一丸とする組合聯合會を結成し物價騰貴に備へ賃金値上げを縣へ申請中の處許可になり次の如く告示された

△協定賃金、三圓（現在二圓八十錢）
△セメント塗工、三圓六十錢（二割增）

今度の協定賃金で平署管內の勞賃が一番高率となつた爲違反を犯し協定賃金以上の高値で雇はれたものは賃金統制令で嚴罰に處することになり、左官を賴む方でも協定賃金以上で絕對雇傭せぬやう自肅を要望してゐる、尙賃金と共に作業時間も次の如く決定した

△自四月一日至十月末日、午前七時より午後五時まで
△自十一月一日至三月末日、午前七時より午後四時半
（休憩時間を含む）

職業補導所

六月十四日終了

平國民職業指導所が轉失者の補導を目的に平陽女學校に開講中の機械製圖補導所は六月十四日終業するが、現在受講中のもの廿二名で何れも初期の技能を修得し就業次第直ちに役立つ技倆を備へてゐるので就職希望者は直ちに重工業方面へ斡旋することになつた

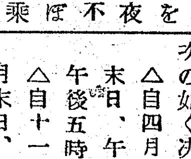
化學の殿堂

日曹工場

工員大募集

小名濱町日素工場は過般來本格的作業開始と共に工員の大募集を行てゐるが、全國にも誇る化學の殿堂目指して應募された人員は相當の數に上り作業は順調な進展を示してゐるが尙は將來の化學技術を欲する青年を求めて居り希望者は工場又は平市國民職業指導所へ申込れたいと望んでゐる

商況



（三十一日）

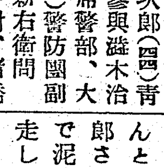
【野菜】	高	安
大根	三二	
玉菜	二〇	
ホレン草	五〇	
【鮮魚】		
サバ	一〇、〇	七〇
小アジ		一三、〇〇
鯛		一一〇、〇〇
イワシ		五、七

お節句の

潮干狩

蛤大漁・河童泳ぐ

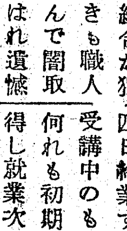
きのふの五月節句は好晴に惠まれ、小名濱町定西下より日素海岸一帶は潮干狩で人の黑山を築き本年は蛤の寄りで渚は大人も小供も競つて珠玉のやうな蛤を踏出し一人で四五升位の收獲を得たが眞夏のやうな暑さの爲め素裸で海水浴の小兒等も相當見受けられた



日曜　庚辰　大安　閉　虚宿

舊五月　七日
新六月　一日

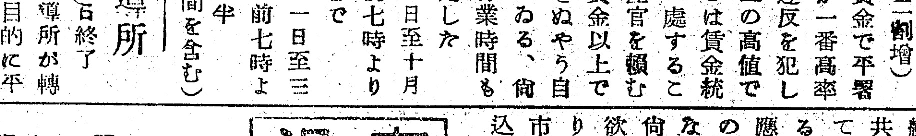
▲一白　靜かに万事を謀れば次第に良好に向ふべし
▲二黑　攻勢より守勢の方針に安全なる日移轉亦凶
▲三碧　巣を出でゝ獵師に狙はるゝ鳥の如し安住吉
▲四綠　萬事過度時代にて危險伴ひ易し輕動を戒む
▲五黃　謙讓して人に交れば尊信加はり萬事に得策
▲六白　己を捨てゝ他に盡し後日に報はるゝ喜あり
▲七赤　物事澁滯せず奮闘の功あり忍耐は殊に肝要
▲八白　過大の希望を起さず定業に親しめば利德あり
▲九紫　猛威を逞ふせざれば進むも功を奏すべき日



今晩　北東の風後東の風晴れたり曇つたり
明日　南西の風時々晴れたり曇つたり海上はおだやかです

（六月一日）

滿潮　前六、四〇　後九、三五
干潮　前一、四〇　後二、〇〇



今年の夏帽子

カンカン帽を見て夏が來たな……と思ふ、カンカン帽はなんと云つても夏帽の王者である、今年はカンカンも壹圓位から四圓位で

四ビシは（荒目の物）內地產だから相當まに合ふ、支那ムギは支那から入らないから少ない、中年の方には支那ムギも上品でよい、そして割合に四ビシより赤くならないーパナマも紙製で二圓位から六、七圓位まで本パナマ代用のヤシのセンイから出來たマーシヤル・リントパナマは洗濯もきくし本パナマと總ての點で見おとりがない、六圓代から最高二十圓までで

最近出初めたヤング帽は色々な色と編方があり輕快で若向きには大變よろしい、値段も一圓代から三圓位で紙製のパナマと同じく紙を材料にして加工をしてあるから少々の雨には耐るパナマもヤングも雨にあたつた時良く乾かしブラシでホコリを落し常に箱に入れて置く事が必要一寸した注意が一年でダメの物が二年使用出來る、此の手入は主婦の役目、洗濯の出來ない紙のパナマヤングは消ゴムのヤワラかい物でおとすと洗濯した位にキレイになる一寸したよごれは消ゴムで充分其費用一錢位

謹告

今般紺屋町塩屋販賣部を古鍛冶町本店に引揚げ今後は本店に於て從來の通り醬油味噌、罐詰、鰹節、飲料食料品の販賣に從事することになりました。就いては一層職域奉公に精進致し度く何卒倍舊の御愛顧を賜ります樣懇願し奉り紙上謹告申上ぐる次第で御座います

追て六月一日は移轉の爲臨時休業致します

塩屋　山崎合名會社
平市古鍛冶町
電話一〇番　二七番

謹告

今回平署管內の左官組合聯合會を結成、賃金統制令第二十四條の規定に依り本年五月十五日より左の通り協定賃金變更の件認可、六月一日より實施することになりました

協定賃金

一金參圓　日給
一金參圓六十錢（セメント塗工道具料に二割增）

勞働時間

自四月一日至十月卅一日　始業午前七時　終業午後五時
自十一月一日至三月卅一日　始業午前七時　終業午後四時半
（右休憩時間も含む）

昭和十六年五月卅一日

石城左官同業組合聯合會